

# 岩手県感染症月報

平成14年5月

岩手県結核・感染症情報センター

## 平成14年5月の概要

### 性感染症

性器クラミジア感染症が増加しており過去3年間で最大です。女性の患者数は全国と比べて約2倍、男性も昨年夏以来増加を続けています。

淋菌感染症は、前月やや減少したものの今はさらに増加し、過去3年間で最大の値を示しました。増加傾向は特に男性に顕著です。

### 薬剤耐性菌感染症

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症が今月急増しましたが、特に集団感染の情報はありません。

## 性感染症・薬剤耐性感染症（過去5ヶ月間の動き）

（総数）

（定点当たり患者数）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		1	2	3	4	5		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	5.92	6.69	6.69	5.77	8.08	↗
	全国	3.63	3.47	3.58	3.76	4.31		
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	1	0.77	0.85	1.31	1.15	↘
	全国	0.81	0.74	0.92	0.86	0.87		
性感染症	尖型コンジローム	岩手県	1.08	0.77	0.31	0.77	0.85	→
	全国	0.48	0.46	0.53	0.49	0.52		
	淋菌感染症	岩手県	2	2.23	2.31	1.54	3	↗
	全国	2.12	1.76	1.9	1.76	2.07		
薬剤耐性菌感染症	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	岩手県	3.4	2.5	2.3	4.05	3.15	↘
	全国	3.74	3.67	3.45	3.48	3.5		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	岩手県	0.8	0.9	0.7	1.2	2.65	↗
	全国	1.01	0.97	1.05	1.19	1.29		
薬剤耐性菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	岩手県	0.15	0.85	0.55	0.2	0.1	↘
全国	0.1	0.12	0.12	0.14	0.14			

（男性）

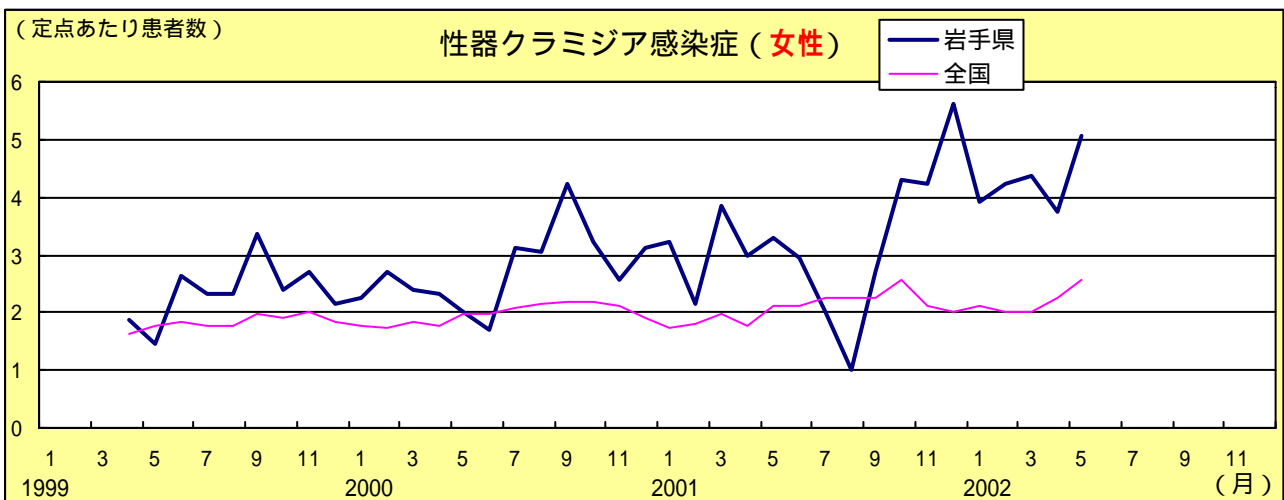
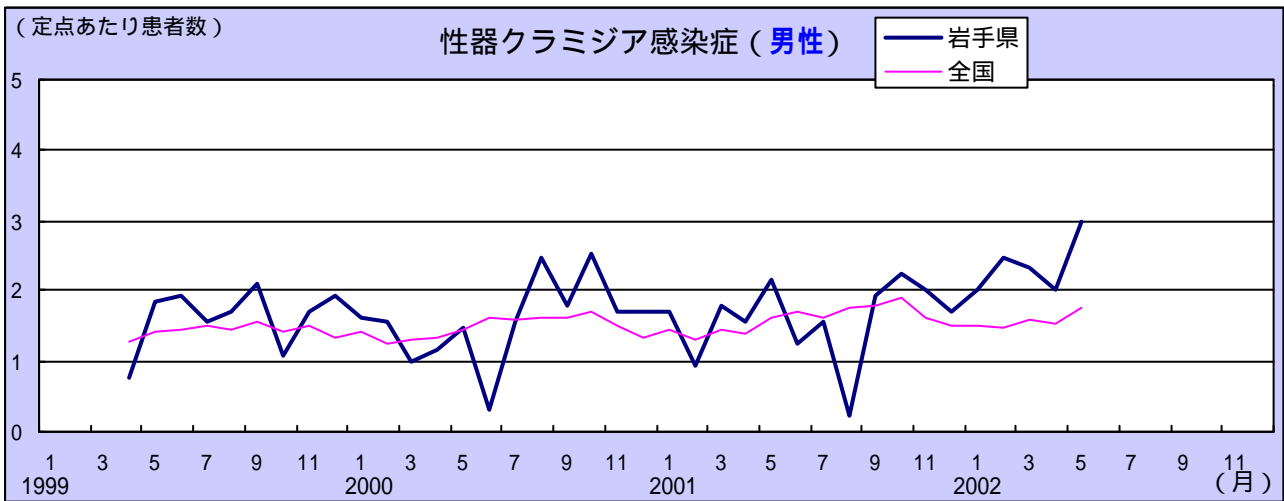
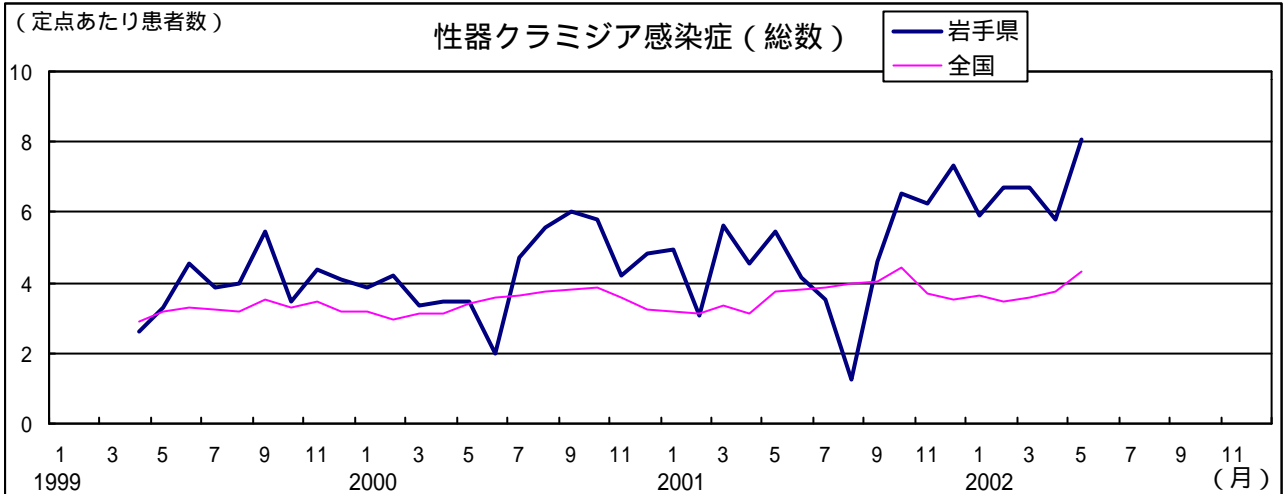
疾病名	地域	月					流行傾向	
		1	2	3	4	5		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	2	2.46	2.31	2	3	↗
	全国	1.51	1.46	1.58	1.52	1.76		
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.23	0.31	0.38	0.54	0.38	↘
	全国	0.36	0.3	0.39	0.37	0.37		
性感染症	尖型コンジローム	岩手県	0.54	0.23	0.23	0.15	0.31	↗
	全国	0.26	0.25	0.28	0.24	0.27		
	淋菌感染症	岩手県	1.77	1.85	2.08	1.46	2.77	↗
	全国	1.74	1.41	1.53	1.42	1.65		

（女性）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		1	2	3	4	5		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	3.92	4.23	4.38	3.77	5.08	↗
	全国	2.12	2.01	2	2.24	2.54		
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.77	0.46	0.46	0.77	0.77	→
	全国	0.45	0.43	0.53	0.49	0.51		
性感染症	尖型コンジローム	岩手県	0.54	0.54	0.08	0.62	0.54	→
	全国	0.22	0.22	0.24	0.25	0.25		
	淋菌感染症	岩手県	0.23	0.38	0.23	0.08	0.23	↗
	全国	0.38	0.35	0.37	0.35	0.42		

**性器クラミジア感染症**

男性の患者数は過去3年間の最大値を示しました。昨年夏頃から増加傾向にあります。  
 女性は昨年8月から増加を続け、12月には過去3年間のワーストを記録しましたが、その後患者数は横ばい状態です。しかし、患者数は全国平均と比べて約2倍という依然高いレベルで推移しています。

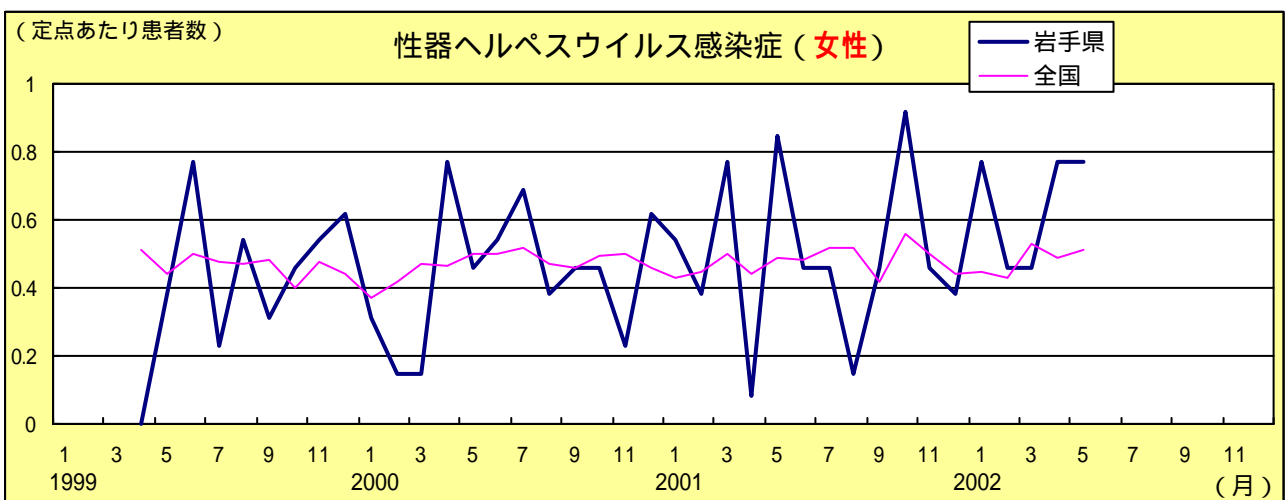
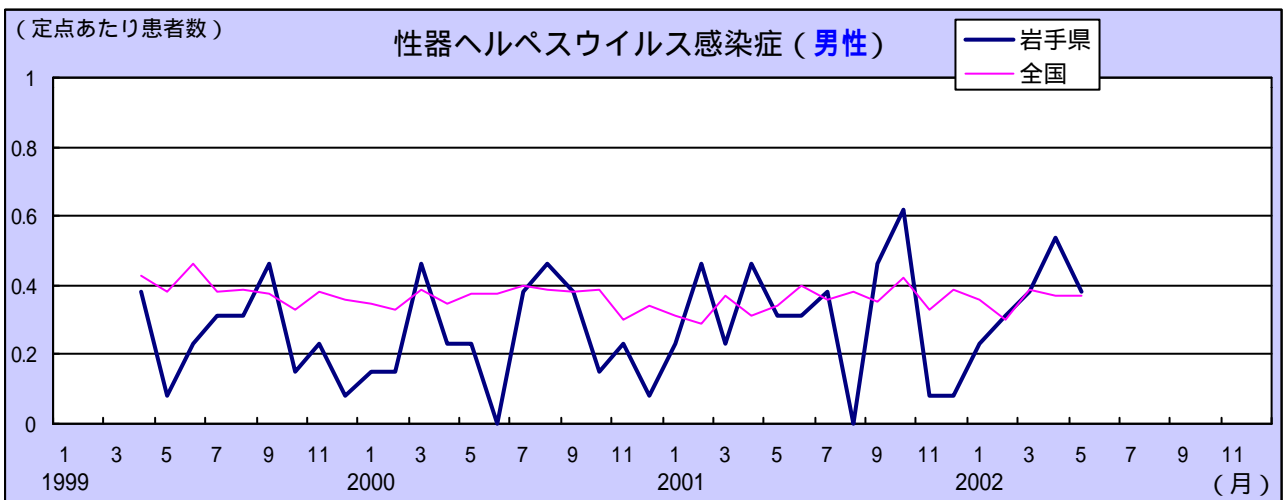
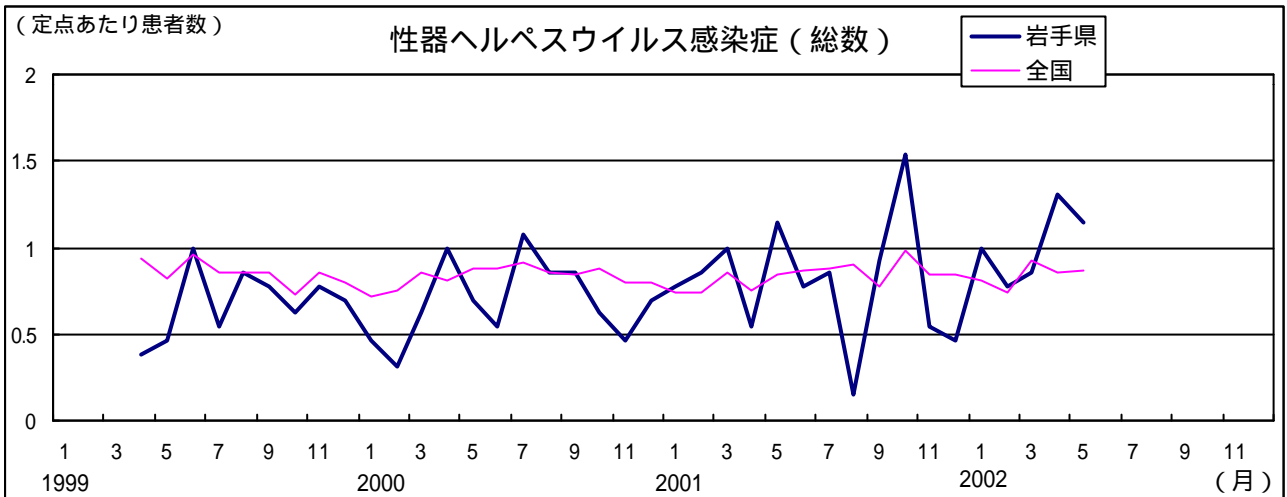


**性器ヘルペスウイルス感染症**

前月に比べてやや減少しました。

性器ヘルペスウイルス感染症は性器やその周辺に水疱や潰瘍を引き起こす疾患で、一度感染すると再発を繰り返します。感染しても無症状でウイルスを排出している場合も多く、知らずに次ぎの相手に移してしまうことがあります。

また、口唇ヘルペスの症状があるパートナーから、口唇性交によって感染することも少なくありません。

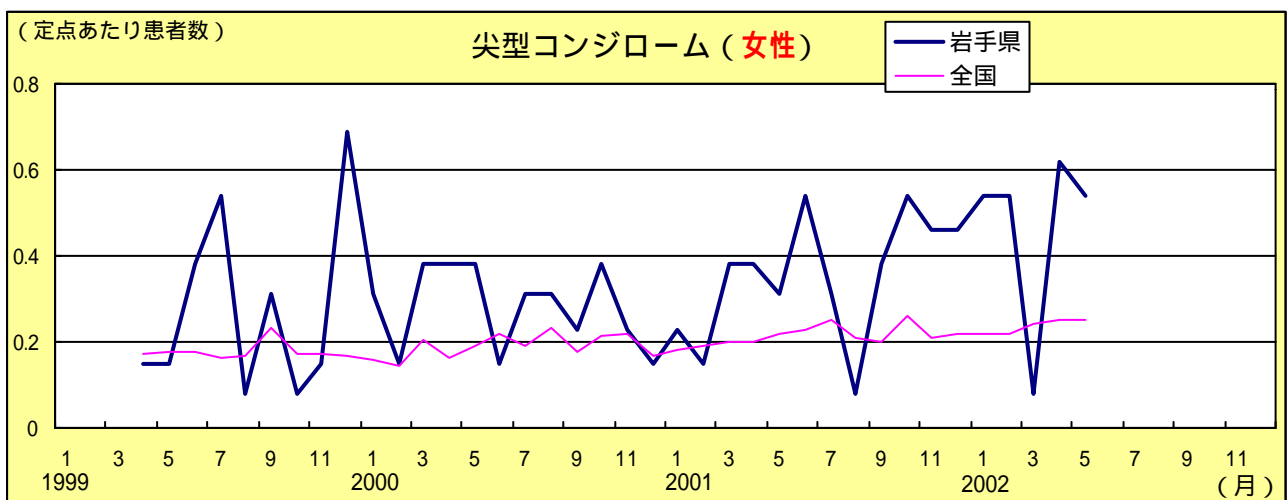
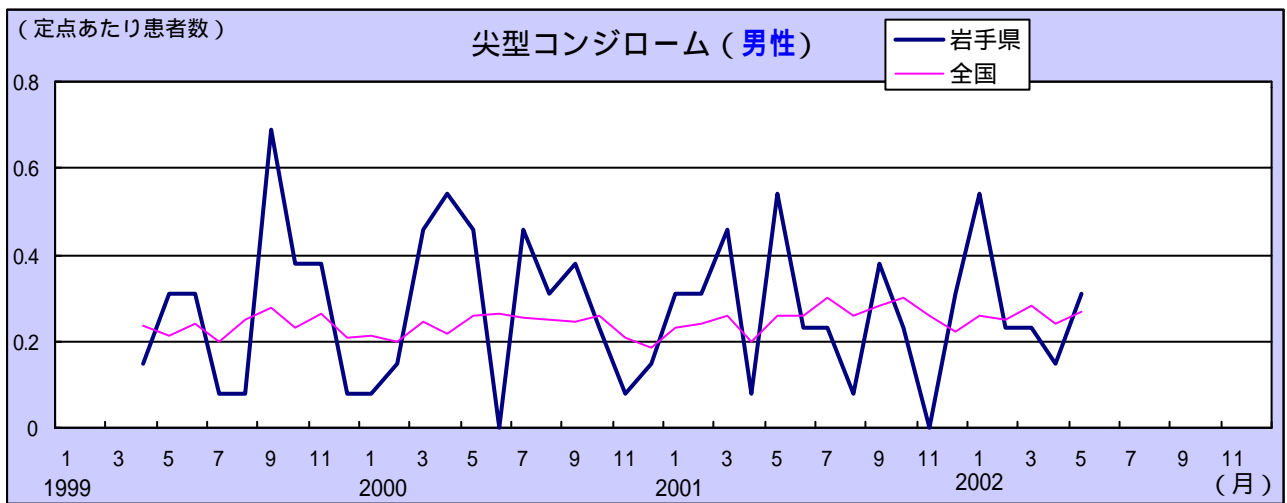
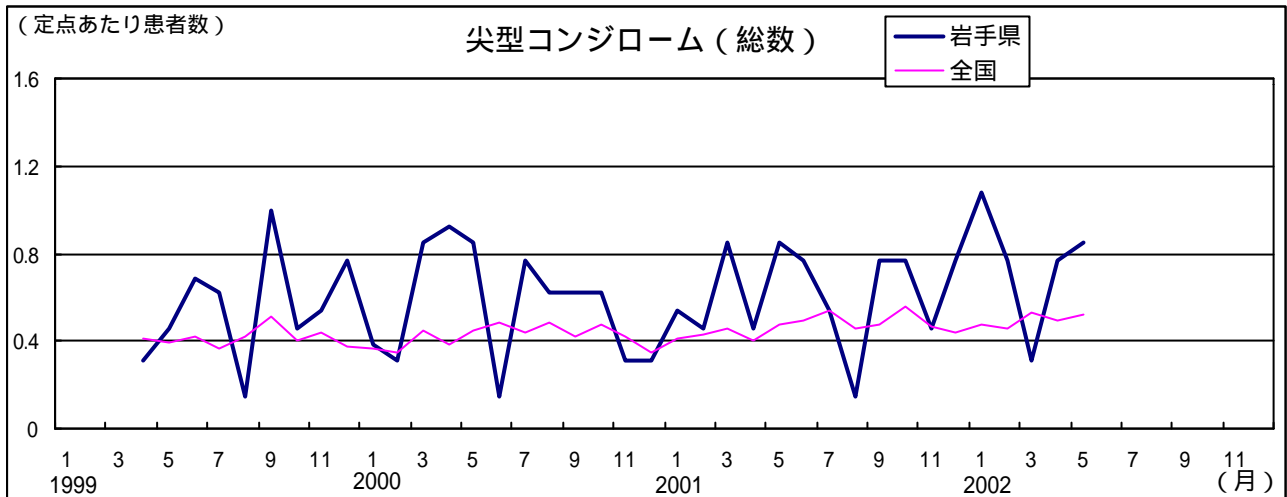


**尖型コンジローム**

男性はやや増加、女性やや減少しましたが全国レベルより高い状況にあります。

尖型コンジロームは性器やその周辺の表面がとげとげしく角化した隆起性病変（淡紅色～褐色の乳頭状、鶏冠状、カリフラワー状）が特徴です。

感染したウイルスの型によっては子宮頸癌の原因となることもあるので注意が必要です。

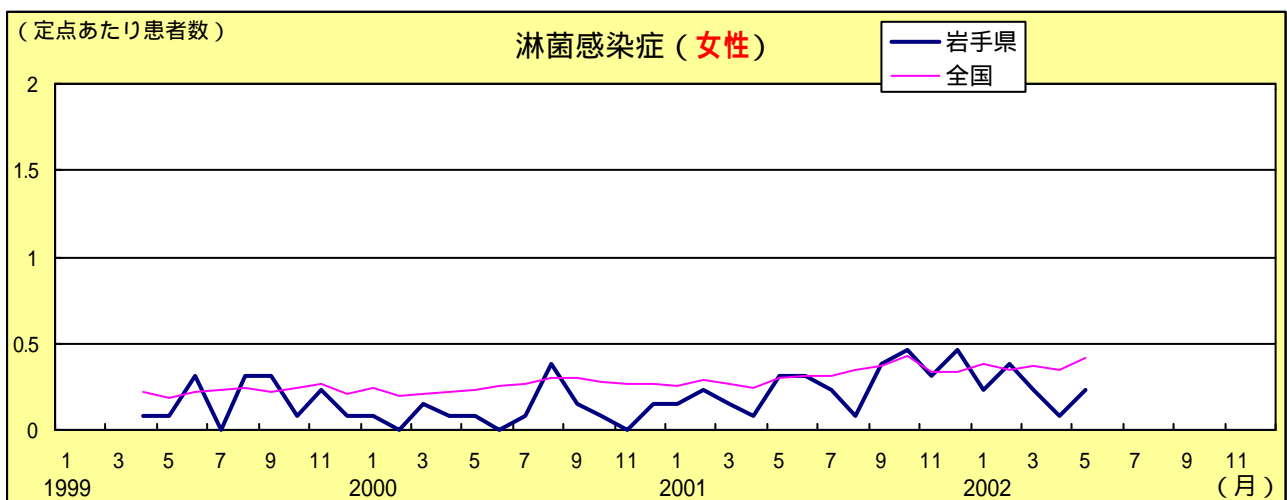
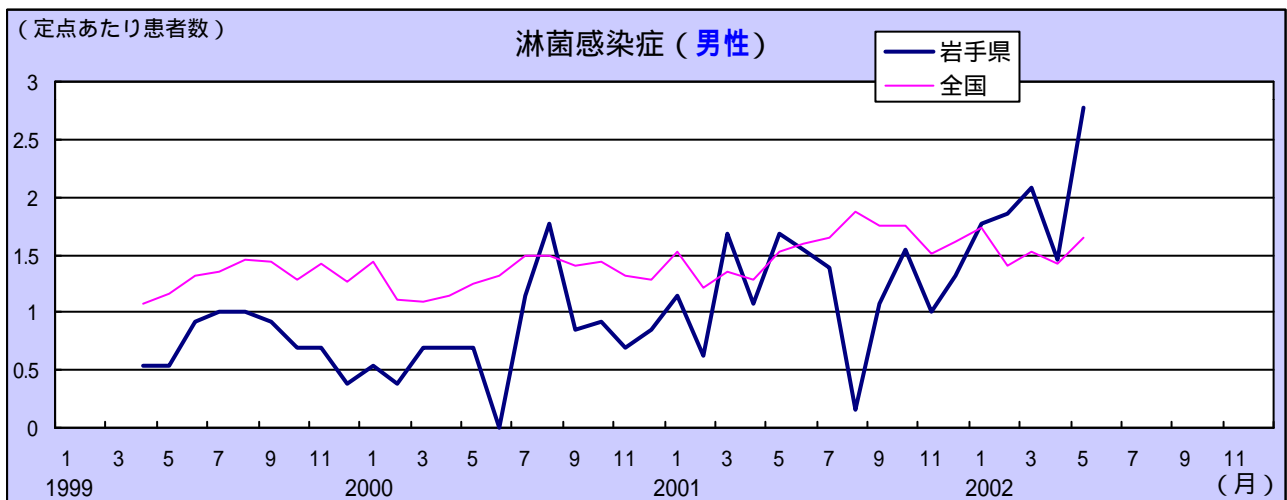
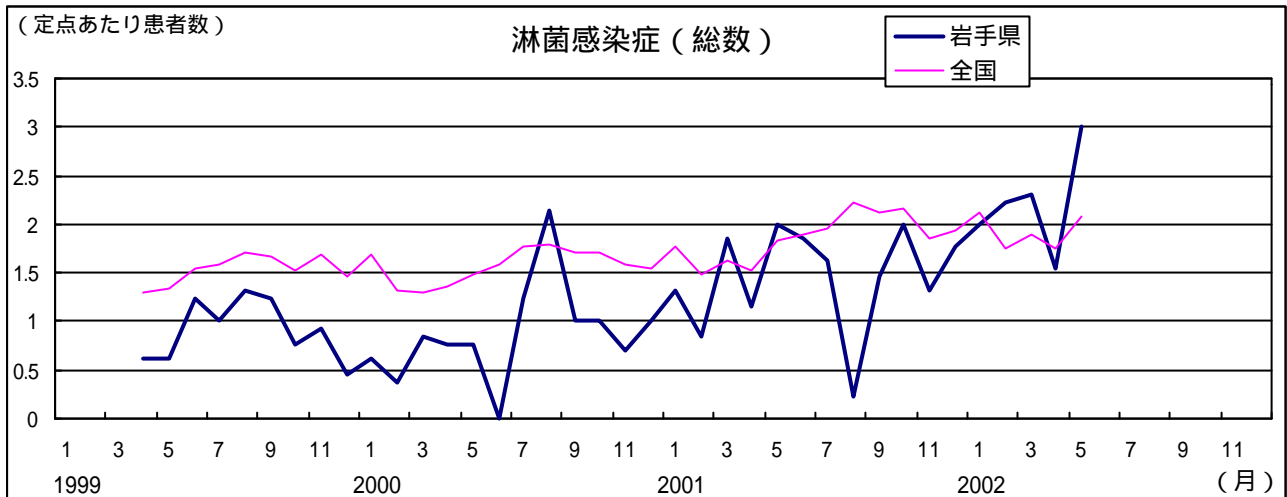


淋菌感染症

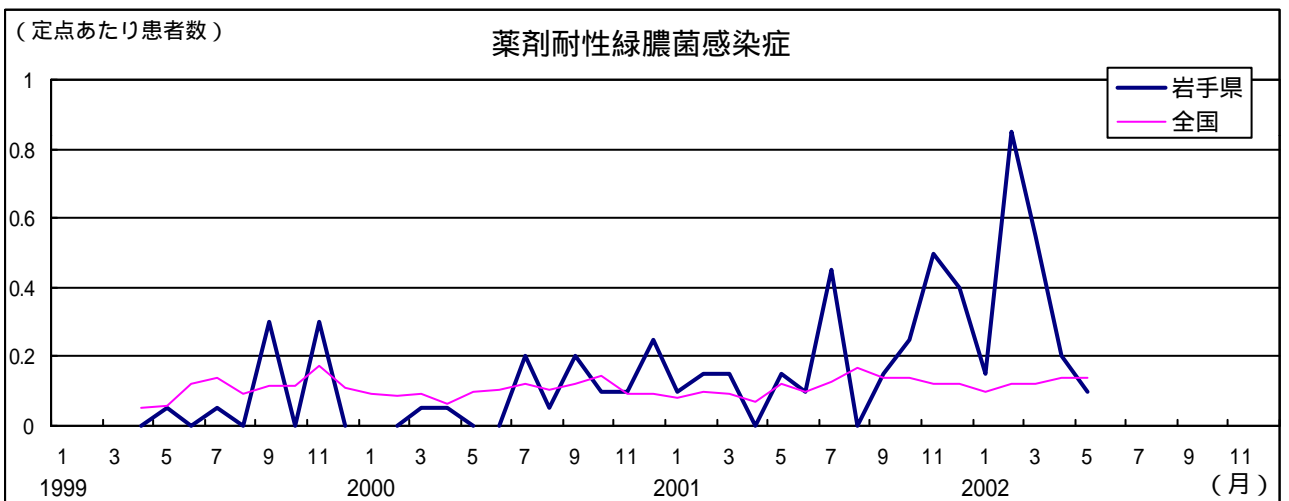
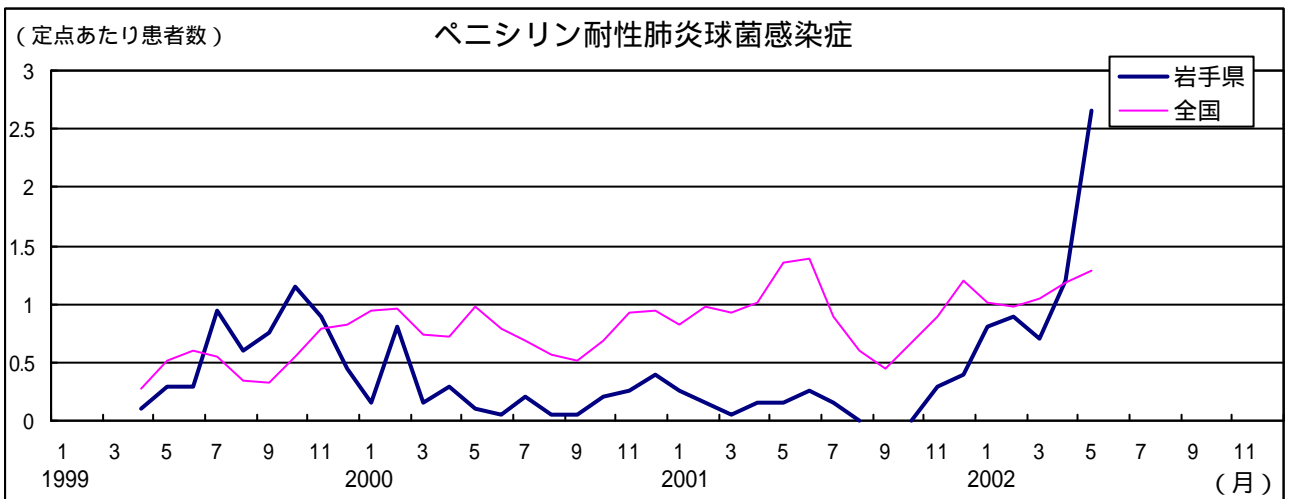
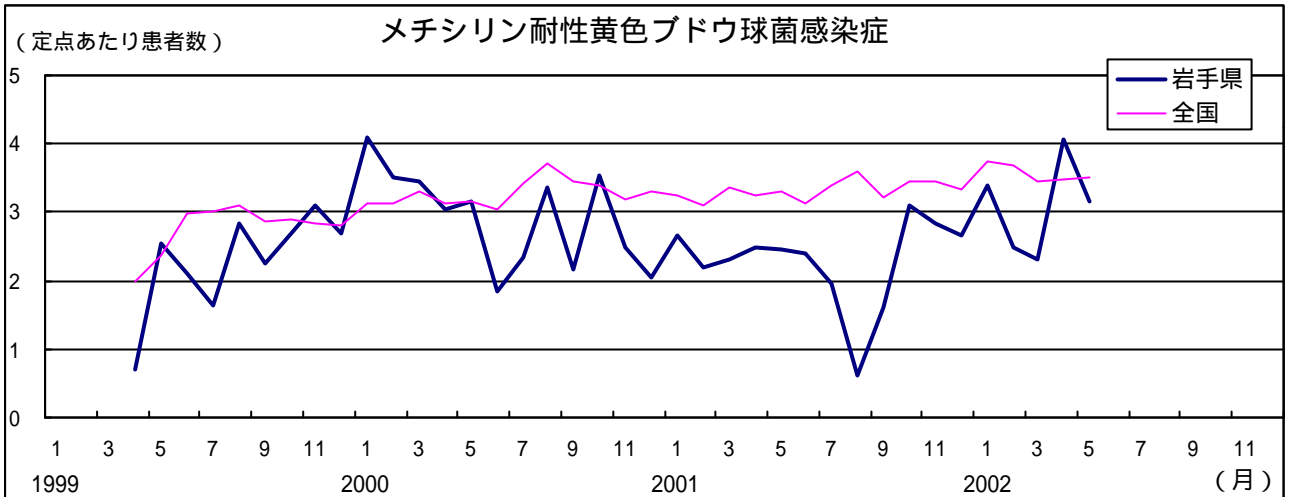
今月は過去3年間のワーストを記録しました。特に男性の患者数が多く、ここ数年感染者数は増加しています。

全国では、1985年以降のエイズ啓発活動により患者数は減少していましたが、1998年4月以降連続して増加傾向にあります。

女性の報告数が男性より極端に少ないのは、女性は自覚症状に乏しく、受診の機会が少ないことが要因の一つと考えられます。



薬剤耐性菌感染症



結核発生動向

1 結核新登録患者数の推移

(単位: 件)

	岩手県			全国		
	前年	当年	対前年比 (%)	前年	当年	対前年比 (%)
13年 6月	29	18	62.1	3,636	3,329	91.6
7月	25	19	76.0	3,521	3,197	90.8
8月	26	21	80.8	3,227	3,225	99.9
9月	22	21	95.5	3,206	2,749	85.7
10月	17	20	117.6	3,146	3,017	95.9
11月	19	22	115.8	3,031	2,829	93.3
12月	20	19	95.0	3,167	2,717	85.8
14年 1月	24	15	62.5	2,726	2,406	88.3
2月	17	22	129.4	2,587	2,383	92.1
3月	23	17	73.9	2,878	2,604	90.5
4月	14	18	128.6	2,754	2,795	101.5
5月	22	20	90.9	3,075	2,874	93.5
合計	258	232	89.9	36,954	34,125	92.3

2 結核新登録患者内訳 (総合患者分類コード別)

(単位: 件)

	活動性結核							マル初 (別掲)	非定型 抗酸菌 陽性 (別掲)	
	総数	肺結核活動性					肺外 結核 活動性			治療中
		総数	喀痰塗抹陽性		その他の 結核菌 陽性	菌陰性 ・ その他				
			総数	初回治療				再治療		
	(22)	(16)	(8)	(6)	(2)	(2)	(6)	(6)	(3)	(4)
14年 5月	20	13	7	4	3	1	5	7	5	1

注1) 月報は、その月の届出のあった者で翌月の15日までに報告された者について計上されており、翌月の15日以降に報告された者については当月のデータに反映されていないため、年報確定数と誤差がでることがあります。

注2) 結核新登録患者内訳表中の( )内数値は、前年同月の月報報告数です。

病原体検出情報

月別病原体検出状況

検査結果	12月	1月	2月	3月	4月	5月	計
Aソ連型インフルエンザウイルス		4	20	2			26
A香港型インフルエンザウイルス			20	1			21
B型インフルエンザウイルス				2	2	10	14
RSウイルス					1		1
アデノウイルス 3型	1				1		2
アデノウイルス19型					1		1
アデノウイルス37型					2		2
アデノウイルス40/41型	1	1					2
アデノウイルス(型別不明)					2		2
コクサッキーB群ウイルス 5型	1						1
ムンプスウイルス					9	5	14
サッポロ様ウイルス	3	1		1			5
ノーウォーク様ウイルス 遺伝子型 II	18	5	1				24
ロタウイルス A群					3	2	5
A群溶血性レンサ球菌					2	3	5
総計	24	11	41	6	23	20	125

疾病別病原体検出状況

疾病名	検出病原体	検出数
感染性胃腸炎	アデノウイルス 3型	1
	アデノウイルス40/41型	2
	サッポロ様ウイルス	9
	ノーウォーク様ウイルス 遺伝子型 II	24
	ロタウイルス A群	5
インフルエンザ	Aソ連型インフルエンザウイルス	26
	A香港型インフルエンザウイルス	21
	B型インフルエンザウイルス	6
	コクサッキーB群ウイルス 5型	1
流行性耳下腺炎	ムンプスウイルス	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	4
上気道炎	B型インフルエンザウイルス	8
扁桃炎	A群溶血性レンサ球菌	1
流行性角結膜炎	アデノウイルス 3型	1
	アデノウイルス19型	1
	アデノウイルス37型	2
	アデノウイルス(型別不明)	2
無菌性髄膜炎	ムンプスウイルス	2
	RSウイルス	1

\*咽頭ぬぐい液から検出された

岩手県感染症月報 平成14年5月

平成14年6月28日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www.pref.iwate.jp/~1353/kansen/